

事前評価個表

整理番号	1
------	---

事業名	水源林造成事業	事業計画期間	H29～（おおむね80年間）
事業実施地区名	木曾川広域流域	事業実施主体	国立研究開発法人森林研究・整備機構
事業の概要・目的	<p>本対象区域が存在する木曾川広域流域は、長野県西部、岐阜県南部及び愛知県一円を包括している。平均気温は10℃～16℃、年間降水量は1,800mm～2,500mmとなっている。本流域には、水量豊かな水系である木曾三川（木曾川、長良川、揖斐川）が流れている。当該対象地の存在する岐阜県では、平成22年に「全国豊かな海づくり大会」を初めて海無し県で開催し、「豊かな海は、豊かな森と河川がはぐくんでいる」ことや清流を森・川・海が一体となって保全することの大切さを全国に発信したところである。しかし、近年ではカシノナガキクイムシによるナラ枯れ被害が拡大し、森林景観が大きく損なわれる等の影響が出始めており、被害跡地の復旧による景観保全や水源涵養機能等の維持・増進が課題となっている。</p> <p>本事業は、気候が温暖で下流に人口の集中した都市が形成されている本流域内の民間による造林が困難な奥地水源地域において水源を涵養するため、国立研究開発法人森林研究・整備機構と地域の関係者による分収造林契約などにより森林の造成を行うことを目的としている。</p> <p>具体的には、流域内のダム水源や簡易水道水源等の集水域における水源涵養機能等の確保に向けて、水源かん養保安林内の無立木地等において、国立研究開発法人森林研究・整備機構が、造林地所有者及び造林者と分収造林契約を締結し、森林整備のための費用負担及びシカ害対策など造林者に対し事業実行に関する技術指導を行い、水源林を造成する他、必要に応じて、既契約地周辺の保安林等において間伐等の森林整備を実施するものである。</p> <p>分収造林契約締結対象区域は、一部でナラ枯れ被害がみられ、ササの侵入があるため、放置したままでは短期での成林が期待できない上、降雨などによる土砂流出の恐れもあることから、本事業により水源涵養機能等を安定的に発揮させていくため、契約相手方の要望等も踏まえて、スギ2,500～3,000本/ha、ヒノキ2,500～2,700本/haの植栽を予定している。また、広葉樹などの前生樹等を活かし、針広混交林を目指す。さらに、シカ害が発生している地域であり、シカ害防除を適切に図っていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主な事業内容：箇所数 15件、事業対象区域面積 288ha （スギ110ha、ヒノキ91ha、広葉樹等区域86ha、既契約地周辺の間伐等 1 ha） ・ 事業対象都道府県：岐阜県 ・ 総事業費： 1,294,013 千円 		
費用対効果分析	総便益（B）	1,964,207 千円	
	総費用（C）	1,018,734 千円	
	分析結果（B/C）	1.93	
水源林造成事業等評価技術検討会の意見	<p>水源の涵養など水土保持機能の発揮のため早急に森林を造成する必要がある箇所であり、事業の効率性やシカ害対策など適切な技術指導による有効性も認められることから、事業を実施することが適当と考える。</p>		
評価結果（案）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 奥地水源地域においては、水源涵養機能等の発揮の観点から、森林所有者の自助努力等によっては適正な森林の整備が進まないおそれがある。また、ナラ枯れ被害が拡大している。このような状況の中、本対象区域は、事業採択の必須要件をすべて満たしており、水源涵養など水土保持機能の発揮のため早急に森林を造成する必要があることから、事業の必要性が認められる。 ・ 効率性： 費用対効果分析の結果、投下する費用を上回る効果が見込まれている他、広葉樹などの前生樹等を活用した針広混交林の造成を目指すことなどによりコスト削減に努めることとしており、事業の効率性が認められる。 ・ 有効性： シカ害対策や針広混交林化等水源涵養など水土保持機能の着実な発揮のために必要な施策等が計画されており、事業の有効性が認められる。 		

様式1

便 益 集 計 表
(森林整備事業)

事業名：水源林造成事業
施行箇所：木曾川広域流域

(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	536,829	
	流域貯水便益	228,143	
	水質浄化便益	497,817	
山地保全便益	土砂流出防止便益	548,596	
	土砂崩壊防止便益	42,705	
環境保全便益	炭素固定便益	100,618	
木材生産等便益	木材生産確保・増進便益	9,499	
総 便 益 (B)		1,964,207	
総 費 用 (C)		1,018,734	
費用便益比	$B \div C = \frac{1,964,207}{1,018,734} = 1.93$		

(岐阜県揖斐郡揖斐川町内等 水源林造成事業候補箇所全15箇所)
(注)便益算定方法は、代表箇所(揖斐郡揖斐川町)を表示しています。

平成28年度水源林造成事業評価(事前評価)対象広域流域

木曾川広域流域

1:2,000,000

0 50 100 km

